

営農情報（小麦）

令和6年12月23日
福岡大城農業協同組合
南筑後・久留米普及指導センター

小麦の播種は11月中旬から開始され、11月中に播種できたものは出芽も良好です。ただ、大豆の成熟の遅れと11月末の降雨により、12月上中旬が播種のピークとなりました。今後は、排水対策及び雑草対策を徹底するとともに、倒伏しない麦づくりのため、麦踏み・土入れを励行しましょう。

1 麦踏み

麦踏みは、麦の分けつ促進と倒伏防止の効果があります。麦3葉期から2月中旬頃の節間伸長開始前までに3～4回実施します。土壌が湿っている時に行うと、土壌を締めつけ生育を抑制することがあるため、土壌が十分乾燥した状態で行います。特に早播きしたほ場では、倒伏や凍霜害が発生しやすいため、麦踏みを徹底します。

2 土入れ

土入れは、無効分けつや雑草の抑制、排水性向上などの効果があります。1月上旬頃から3月上旬にかけて2～3回実施し、麦の生育に応じて土の量を増やします。追肥後に行うと肥効が安定します。また、土塊が大きくなるように、麦踏みと同様に土壌が乾燥した状態で行います。なお、麦踏み直後は避け、麦が土に埋もれないようにします。麦踏み後に行う場合は、生育が回復するまで待ちましょう。

3 追肥

穂数の確保と穂の充実のため、下表の時期を目安に追肥を行います。施用時期が遅れると倒伏や成熟期の遅れにつながるため、遅播きのほ場においても施用時期を守りましょう。なお、遅播きとなり、出芽が1月上旬頃までかかったほ場や深播き等で出芽揃いが極端に悪いほ場では、追肥一発肥料を使用せず、2月下旬～3月上旬頃に、生育に応じてNK2号を10～20kg/10a程度施用します。

(10a当たり)

品 種 名	1 回目追肥		穂揃期追肥
シロガネコムギ	1 月中～ 下旬	麦追肥一発2号 40kg	—
ちくしW2号	1 月下旬～ 2 月上旬	硬質小麦専用追肥 3004 30kg	尿素4kg(水 100L) × 2回

4 排水対策

麦は湿害に弱く、排水不良田では根傷みや生育ムラ、枯熟れ等が生じます。土入れの後、畝溝と落水口をしっかり繋ぎ、ほ場内に水が停滞しないようにします。また、降雨後は、雨水が停滞している箇所がないか確認しましょう。

5 雑草防除＜広葉雑草対策＞

ほ場の雑草を確認し、こよみや下表を参考に雑草の種類に合った薬剤を選択します。

また、薬害防止と除草効果安定のため、薬剤散布直前～散布後1週間以内の麦踏み・土入れは避けます。

薬剤名	対象雑草	使用時期	10a 使用量	備考
ハーモニーDF	スズメノトウモロコシ 一年生 広葉雑草	節間伸長前まで	5～10g (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> スズメノトウモロコシ、カラスノエンドウ、ヤエムグラ、ミチヤナギは 10g を推奨 タデ類に効果が高い カラスノエンドウ発生初期まで効果あり 抵抗性スズメノトウモロコシには効果なし ※既に、ハーモニー細粒剤 F を使用したほ場では、本剤は使用できない
	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期 ～穂ばらみ期 (収穫 45 日前まで) ※大麦は節間伸長前 までしか使えません	3～10g (水 100L)	
エコハート707Aフル	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期まで	50～ 100mL (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ヤエムグラに効果が高い カラスノエンドウへの効果は低い 薬害（軽微な白斑等）が生じることがある
バサグラン 液剤	一年生 広葉雑草	生育期 (収穫 45 日前まで) ※大麦は収穫 90 日前まで	100～ 200mL (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> 高温、晴天時に効果が高い オシロイバナ類に効果が高い カラスノエンドウ3葉期まで効果あり

※上記の薬剤を使用した上で、3月頃までカラスノエンドウ等広葉雑草が残った場合

MCP ソーダ塩	一年生 及び 多年生 広葉雑草	幼穂形成期 (収穫 45 日前まで) 目安：3月上中旬	200～ 300g (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> 気温が高い方が効果高い 分げつ抑制作用があるため、茎数を十分確保してから散布する カラスノエンドウ4葉期まで効果あり ヤエムグラには効果低い
----------	--------------------------	-----------------------------------	--------------------------	---



〈ミチヤナギ〉



〈カラスノエンドウ〉



〈キンポウゲ類(ゲキキツネバナ)〉

【農薬の安全使用上の注意】

- ① 散布前に必ず農薬ラベルの登録内容等を確認！
- ② 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- ③ 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！
- ④ 防除履歴の正確な記帳！